

(仮称) 静岡市文化振興による個性豊かな文化の創造と文化を活かした
活力あふれるまちづくり条例骨子案に関する市民意見募集結果

1 実施期間 平成 27 年 11 月 9 日（月）～平成 27 年 12 月 10 日（木）

2 意見数

意見提出者数 1 人

意見提出件数 2 件

3 意見に対する静岡市の考え方

番号	ご意見の タイトル	ご意見	市の考え方
1	基本理念 の表現	<p>条例の考え方として、「市民が」、「市」が〇〇する」という、前向きな理念を定めるのではないのでしょうか。とすると、「〇〇されること」の受け身ととれる表現は、市や市民を主体的に意識して、任務なり義務を課す表現のように思いますがいかがですか。</p> <p>「〇〇すること」の能動的な表現の方が、それぞれの主体に対して前向きな方向を求め、方向性を示しているように感じますがいかがですか。</p>	<p>文化の振興にあたって尊重されるべき基本理念を規定した部分であるため、このような受身の表現となっています。</p> <p>すべての主体に求められることとして主語がない表現をしているため、頭に「文化の振興にあたっては」を付けて読んでいただくとつながる文言になっています。</p> <p>なお、第4条以降に、各主体の責務について能動的な表現で規定をしています。</p>
2	基本理念 の「交流促進」	<p>基本理念で、「交流促進」を謳うことは、大賛成です。特にまちづくりの情報発信の方法として、外部の力をいただくことは、とても大切で、重要な施策と思います。</p> <p>鶏と卵の関係かもしれませんが、「基本的施策」で交流促進が全面的に前面に出ていることとのつながりからすると、施策の方向として前後を逆転する表現の方が、「よい回転」につながるように考えます。結果は同じですが重点は何かということです。</p> <p>「文化を生かした交流促進を図ることにより、本市の文化を内外に発信する」。まちづくりという意味で、交流が発信につながり、レベルが上がるのではないのでしょうか。</p> <p>上記の考え方からすると、次の「環境」の理念も前後を逆転する表現の方が、「よい回転」につながるようにも考えます。全体をもう1枚の意見と合わせ、ご検討ください。</p>	<p>基本理念（2）につきましては、文化を活かした交流促進に重点を置き、そのために様々な情報発信をしていこうとするもので、市民のみならず、文化に関する情報を送受信しやすい仕組みをつくり発信をすることにより、そこに交流が生まれ多くの人を巻き込んで、お互いを高めあいながら文化を育てていくことができるのではないかと考えます。</p> <p>また、（3）については「常に意識の高揚に努める」とことと「等しい環境の下で行われる」という2つの条件が並列して述べられており、共に文化を振興するために必要不可欠なものであると考えております。</p> <p>今後、いただいたご意見を参考に、条文の調整を行ってまいります。</p>